

(2) 校内研究計画

令和5年度 玄海みらい学園校内研究計画書

1 研究主題

できた喜びを感じ、自ら伸びていく子どもを育む、9年間を貫く学習スタイルの研究
～基礎・基本の定着と家庭学習の取組を通して～

2 研究主題設定の理由（背景、現状等）

本学園は、平成27年4月に玄海町内の2つの小学校と2つの中学校が統合されて小中一貫校として新設され、平成29年4月からは義務教育学校として新たな歩みを始めている。児童生徒数は401名、学級数は23学級で中規模の学校である。新しい校舎と自然環境に恵まれ元気な児童生徒であるが、基礎・基本の定着が不十分であり、学年で決められた家庭学習の時間を達成できていない傾向がある。また、平成29年11月と平成31年3月に実施したリーディングスキルテストでも、文章を的確に読み取ることや文章を要約したり条件に合わせて書いたりすることに課題が見られた。

そこで、令和元年度より、小中連携による学力向上推進地域指定事業の指定を受け、「9年間を貫く学習スタイルの研究」をテーマに、「授業づくりのステップ1・2・3」を活用し、全教科・領域において子ども達と「めあて」「まとめ」「振り返り」を共有して学習を進めてきた。前期課程では、算数科・国語科に焦点を当て、「書く力」「読む力」を高める指導を行い、後期課程では、「まとめ」「振り返り」を書くことで、授業で何を学んだのかを認識できるよう指導を行ってきた。その結果、わずかではあるがその成果が見られた。

学習指導要領の改訂に伴い、新たな学力観のもと、これまでの研究を踏まえつつ次の課題に取り組む必要があると思われる。それは、「基礎・基本の定着」と「家庭学習の充実」である。令和3年度から、「基礎・基本の定着」では、校内の学習環境を整備すると共に、各教科（各学年）の基礎・基本の洗い出しを行い、子ども達が主体的に学習活動に取り組むことで定着を図った。「家庭学習の充実」では、本学園で独自に作成した「家庭学習の手引き」を活用し、家庭学習の目的や意義、良い家庭学習のモデルを示し、保護者への啓発を図ってきた。今年度も、継続して以上の二点に重点を置き取り組んでいく。

3 研究の目標

- ・ 「授業づくりのステップ1・2・3」の「めあて」「まとめ」「書く活動」「話し合う活動」「振り返り」の学習過程を、教師だけでなく児童生徒も理解した上で、全教科・領域、全学年において実践し、主体的に学習に取り組む児童生徒を育てる。
- ・ 各教科・各学年で習得すべき基礎・基本を習得する方法を意図的、継続的に仕組み、定着を図る。
- ・ 家庭学習と日々の授業との関連を図り、予習・復習をしてきたことが授業に生かされるようにして、家庭学習の習慣化を図る。

4 研究組織

管理職と前期課程教員、後期課程教員による研究推進委員会を中心に研究を進めていく。

5 研究方法

基礎・基本の定着を通して主体的に学習に取り組む子ども達を育てるために、研究組織に沿った次の4点に焦点を当てて全職員で取組を進めていく。

(1) 基礎・基本の定着のための取組

各学年における基礎・基本を定着させるために、学年（各教科）で統一したチャレンジタイム（チャレンジ週間）を設定し、それらの定着を図るための実践を積み重ねる。

- (2) 校内の学習環境を整備する取組
児童生徒専門委員会と連携し、学習標語や基礎・基本のクイズなどを提示し、学習意欲の喚起を図る。
- (3) 保護者への啓発の取組
家庭学習のモデルや家庭学習に対する保護者の関わり方の例を示す。子ども達の変容を保護者の関わりによる成果として取り上げ、家庭学習の習慣化を図る。
- (4) 授業力向上研修会
学校内で普段の授業を公開し合い、「授業づくりのステップ1・2・3」を基に作成した授業を見直す視点シートを活用して意見交換することで、主体的・対話的で深い学びを実現した授業スタイルを見出す。

6 年間計画

期日			取組の概要
月	日	曜	
4	11	火	第1回研究推進委員会（研究の概要、研究方法と年間計画の検討）
	20	木	第1回校内研究全体会（概要説明、研究方法と年間計画の提案）
6	2	金	第2回研究推進委員会（共通実践の確認）
	7	水	第2回校内研究全体会（共通実践の提案）
7	14	金	第3回研究推進委員会（夏季休業期間の研修計画）
	20	木	第3回校内研究全体会（夏季休業期間の研修計画）
9	21	木	第4回研究推進委員会（共通実践の中間報告と対応策の検討）
	27	水	第4回校内研究全体会（共通実践の中間報告と対応策の検討）
10	6	月	第5回研究推進委員会（ICT利活用研修の検討）
	11	水	第5回校内研究全体会（ICT利活用研修）
11	6	月	第6回研究推進委員会（冬季休業期間の研修計画）
	8	水	第6回校内研究全体会（冬季休業期間の研修計画）
1	5	金	第7回研究推進委員会（働き方改善に向けた方法の検討）
	10	水	第7回校内研究全体会（働き方改善研修）
2	5	月	第8回研究推進委員会（研究のまとめ）
	7	水	第8回校内研究全体会（研究のまとめ、次年度への課題）
3	11	月	第9回研究推進委員会（次年度への申し送り事項）
	13	水	第9回校内研究全大会（次年度の研究について）

※上記に別途、授業力向上研修会、校内授業研究会（全体研・グループ研）が入ってくる。